



株式会社オオマチワールド Suzuki Atsushi
代表取締役社長 鈴木 敦

東北リース株式会社 Kanno Hiroaki
代表取締役会長CEO 菅野 浩昭

1999年に特許を取得するなど、折り畳式ハウスの先駆者として、さまざまな商品を展開する「オオマチワールド」(本社・仙台市)。同社の鈴木社長が、宮城の地場レンタル会社・東北リースの菅野会長と、現在とこれからについて語り合った。

菅野 本日は貴重なお時間をいただき、ありがとうございます。御社のユニットハウスは、折り畳式ハウスではまさに先駆者で、われわれがレンタルを始めたころには、一つのトラックで2倍とか3倍に広げられる画期的なものでした。今はそれがデラックスでハイセンスなものに進化しており、トイレや危険物保管庫も展開しているなど、画期的なハウスの会社というイメージを抱いています。

折り畳式ハウスを40年にわたって展開

鈴木 弊社は、1966年に前身となる大町モーターズが設立され、84年に折り畳式ハウスの公開実用新案を提出したのを機にユニットハウス事業部を新設し、ハウス事業がスタートしました。その後、大町モーターズからレンタル事業とハウス事業を分社化して、2015年に福岡県にあ

るワールドホールディングスの100子会社となり、現在に至るとい流れになりました。ユニットハウス部門が独立した形であり、大町モーターズは現在も健在です。年配の方には「大町」といえば2倍ハウス、3倍ハウスというイメージを多く持たれていますが、オオマチワールドと比べると、そのイメージがまだ浸透しきれていない部分もありますので、もっとブランド力を高めていきたいですね。

菅野 ユニットハウスは需要に合わせてさまざまなバリエーションがあります。特にトイレはハイクラスで、どこにも負けない一押しの商品ですね。私も以前から、いろいろなところでお話しさせているんですが、建設現場でも女性が進出しているわけですから、やはり百貨店のトイレみたいに設備を充実していかなければ、いくら女性活躍を叫んでもなかなか定着して



国土交通省推奨・快適トイレの仕様を満たした、きれいトイレ「FOLIA」(目隠し付き)

いけないのではないのでしょうか。使う人の快適性にもこだわった御社のトイレやハウスは、まさにこれからの時代にマッチしていくものであり、そうした要求にきちんと応えてくれているのも、支持を集めている要因だと思います。鈴木 きれいなトイレについては、「フォリア」という商品になりますが、匂わない上にパウダールームも付いていますので、女性にも人気があり

ます。国土交通省推奨の快適トイレの仕様を満たしており、6年前のリリースからようやく浸透してきたというところなんです。長崎県佐世保市や佐賀県みやき町の公園にも設置していただき、YouTubeで取り上げられたり、テレビの取材も受けています。菅野 これからの時代は安かろう悪かろうではなく、「質」が求められるのではないのでしょうか。御社は自社工場を持つメーカーでもありますの



危険物保管庫DB-2

で、そうした需要にきちんと応えられるというのが強みになってきていると思います。

SDGsやZEB等付加価値のある商品を

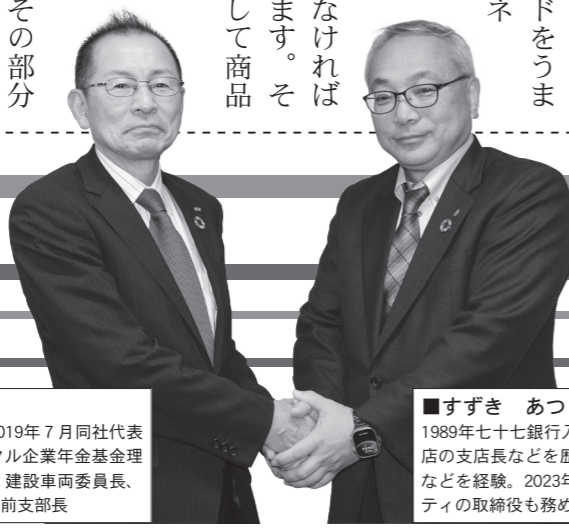
鈴木 ユニットハウスは今後、多少値段が高くても付加価値が付くものでないと難しいのではないかと考えています。また、SDGsやZEBを視野に入れた商品も必要になってきますので、オオマチといえばこれだという新商品を出していきたいですね。菅野会長のようなユーザーさんからの意見を取り入れるとともに、こちらからも提案できるくらいにならないければと考えています。付加価値の部分でいえば、制度改正もあつて、一定レベル以上の危険物の保管が義務付けられています。それに合わせた危険物保管庫の需要も伸びてきていますが、第1号は菅野会長にお

買い上げいただいたんですね。

菅野 例えば、塗料であれば何リッターまでといった規定量が決まっていますので、きちんとした会社として認められるためには、危険物の保管もしっかりしていかなければなりません。その点で考えても、世の中のトレンドをうまくつかみながらビジネスに生かしている印象がありますね。

鈴木 やはり、アンテナは高くしていかなければならないと思っています。その情報をうまく生かして商品に展開できるかが大事ですね。想像してからモノになるまでには1年、2年平気ですかかりますから、その部分を先取りしていくという感覚は常に持つようになっています。

菅野 いろいろな形で隙間を埋めるような事業展開に、われわれも協力できればと考えています。本日はどうもありがとうございました。



■かんの ひろあき
1994年8月東北リース代表取締役、2019年7月同社代表取締役会長就任。日本建設機械レンタル企業年金基金理事長、宮城県レンタカー協会副会長、建設車両委員長、宮城県建設機械レンタル協会相談役、前支部長

■すずき あつし
1989年七十七銀行入行。中山支店や山下支店、東卸町支店の支店長などを歴任した後、戸田建設の建築営業部長などを経験。2023年7月1日から現職。ワールドアイシティの取締役も務めている